

令和元年度小松市立月津小学校評価（計画）

めざす児童生徒像

- ・ 課題に対し粘り強く取り組む子
- ・ 自分の考えを表現し吟味する子
- ・ 友達と協働できる子

※児童生徒達成結果－教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
（学校重点設定） 学校重点項目	協働できる子	行事で協働的に活動している児童の割合を100%にする	① 児童集会							
			② 運動会							
			③ 学校保健委員会							
			④ ハッピーフェスティバル							
			集計							
重点項目 石川県共通 業務の改善 働き方や		すべての項目について肯定する教員の割合を80%以上とする	① 校務分掌や業務の整理・統合が図られており、業務の平準化がなされている。							
			② 分掌部会を機能させ、職員会議の短時間に努める。							
			③ 提案活動後直ちに振り返り、提案文書を訂正し、業務の改善に努める。							
			集計							
			集計							
小松市共通重点項目	学校研究	③について そう感じていると答える教員の割合80%以上	① 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている。							
			② 研究主題に迫る目指す授業像（児童生徒像）を共有し、研究の視点に沿った授業研究会を計画的に行っている。							
			③ 教職員一人一人が授業研究に取り組み、月津スタイルを共有・実践している。							
			集計							
			集計							
	指導力の向上	授業	算数科において⑥の項目が児童・教員ともに80%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。						
				③ (発表力) 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ (記述力) 児童生徒は、自分の考えを書く機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して書いている。						
				⑤ 児童生徒は、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている。						
				⑥ 児童生徒は、「わかった」「できた」と学びに対する達成感を得られている。						
	集計									
	学力の定着	学力調査	④⑤について目標点を達成することができる。	① 学力の重点目標や具体的な取組は全教職員で共通理解し、目標を達成できるよう徹底して行っている。						
				② 学力向上ロードマップにおける各自の役割を教職員が理解し、定期的な検証がなされている。						
				③ 近隣等の小中学校と学力調査の結果や分析、成果や課題を共有している。(小中連携)						
④ 一学期単元末の国語のテストの平均点を低学年は90点、中学年と高学年は80点をを目指す。										
⑤ 一学期単元末の算数のテストの平均点を低学年は90点、中学年と高学年は80点をを目指す。										
集計										
家庭学習		①について児童アンケートの割合を80%以上にする。	① 自分で計画を立てて勉強している。(3年以上)							
			② 児童生徒の家庭学習の評価・指導を行っている。							
			集計							